

2018年11月6日 第250号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター学習交流集会を開催

3000万人署名を達成し、改憲発議許さず 9条改憲断念、安倍政権を退陣に追い込もう！

憲法共同センターは11月4日、全日通霞が関ビル8階会議室で、「安倍政権退陣、憲法9条改悪阻止、3000万人署名達成をめざす学習交流集会」を開き、18団体、14地方、67人が参加しました。3000万人署名を中心とする安倍9条改憲反対の取り組みの到達点を確認し、改憲発議を許さないたかひが正念場を迎えることから、取り組みをいっそう強化していくことを意思統一しました。

日本共産党の吉良よし子参議院が駆け付け、国会情勢を報告。記念講演を法政大学名誉教授の五十嵐仁氏が行いました。



主催者あいさつを自由法曹団の船尾徹団長が行いました。「先の通常国会を改憲国会にさせなかった。しかし、息の根を止めたわけではない。3000万人署名を軸に改憲を断念させるため、市民と野党の共闘、運動が求められている。本日の交流集会で、経験を交流し運動を確認しよう」と呼びかけました。

三段跳び戦略で安倍政権退陣を

「安倍9条改憲NO!勝利の力は、3000万人署名と野党共闘」と題し、法政大学名誉教授の五十嵐仁氏が記念講演。はじめに「改憲ガチンコ勝負」が開始されるにあたり、勝利するには「正しい地図、羅針盤が必要。安倍政権は隠す、ごまかす、ウソをつく。マスコミの変質、フェイクニュースもあり、正しい情報を発信すること、真実を見抜く目を養うためには学習が重要」と強調しました。

憲法について、「最高法規であり国民少数の意見、いろいろな対立意見がある事項は項目としな

いというのがあるべき姿。自衛隊を9条に明記することは分断と対立する提起であり断じて許されない。憲法審査会での提案前に阻止することが重要。安倍首相は、憲法99条で二重三重に縛られている。それなのに改憲を自己目的化し、臨時国会・通常国会の憲法審査会で案を出し改憲発議に持ち込み、すきがあれば強行突破をしようと狙っている」と指摘しました。



最後に「改憲発議をさせないため、世論に働きかける手段として3000万人署名を訴え、対話で意見を変えていこう。このことと安倍政権打倒を結び付けてたたかおう。三段跳び戦略—臨時・通常国会での改憲発議阻止、参院選でネジレにする、総選挙で政権交代を実現させよう」と呼びかけました。

安倍改憲断念を勝ち取るまで粘り強く

運営委員会からの報告を全労連の小田川義和議長が行いました。「3000万人署名は、有権者の過半数をこえる世論への働きかけ（対話）と賛同の確保をめざす取り組みと位置付けられ、3000万人の署名を集約することで、安倍9条改憲NOの強固な世論を可視化し、それを力に安倍改憲を押し返し、国会での改憲案の発議を阻止することを一義的な目的とした。繰り返し確認してほしい。安倍首相などのねらい通りにはさせず、通常国会段階では、改憲論議はおろか、憲法審査会の開催時間はわずか6分に押しとどめた」と取り組みの経過を述べました。

情勢とたたかいのポイントとして、安倍改憲阻止の一点で憲法審査会を開かせない世論を高め、野党の結束を迫る取り組みを一気に強めること、改憲勢力を少数に追い込むためにも、安倍改憲反対の世論と国民運動を飛躍的に発展させ、「市民と野党の共闘」での選挙勝利をめざす取り組みと一体で、安倍改憲阻止の取り組みを進めること、改憲反対の取り組みとも一体で、沖縄辺野古への基地建設断念を訴え、日米安保条約の廃止を求め、日米安保体制強化に反対する取り組みも求められていることなどを提起。

取り組みの基本方向として、中心に3000万人統一署名をすえ、安倍改憲断念を勝ち取るまで、目標達成をめざしねばり強く取り組みを続けること、集約した署名も活用し、2018年秋の段階から、与野党を問わずに地元選出のすべての国会議員への要請行動を繰り返し行うことなどを提起しました。

改憲と国民課題を結んで

討論では13人が発言。「消費税は逆進性、生存権から考えて憲法に反する税制だ。憲法を守る運動とさまざまな要求で対話することが大事。消費税と3000万人署名、2つの課題で広げていきたい」(全商連)、「安倍改憲NOのためには、安倍退陣ということを運動の中で位置づけることが大事。統一地方選、参院選で改憲と国民要求を結んで運動していくことが大事」(静岡)と、3000万人署名を複合的に取り組むことの重要性が話されました。

「3000 万人署名の到達は目標 6 割だが、区長自ら署名をまわし、住民の過半数を超えた地区もある。地域での個別訪問を 11 月 23 日に実施する」(福島・郡山)、「3 日に大阪総がかり集会を行い 1 万 2000 人が参加。連帯感が持てる集会にしよう『輝け憲法 9 条、東アジアに平和を、辺野古に基地は作らせない』の 3 部構成とした。制服向上委員会が参加。5 野党(1 政党メッセージ)がそろってあいさつした」(大阪)、「地域に行けば 3000 万人署名は終わっていない。毎月署名数は増えている。毎月 20 日を署名集約日としている。定期的に集約することが大事。3000 万人署名を下敷きに政治を変える共闘にどう変えていくか。主権者として対話をしながら育ちあいをすることが大事」(兵庫)など、地域での取り組みなどが話されました。

全日本民医連の岸本啓介事務局長がまとめと閉会あいさつを行い「草の根の共同をしている憲法共同センターの取り組みの教訓や工夫を学んで運動を飛躍させ、安倍退陣まで力をあわせ憲法共同センターらしく運動を前進させていこう」と呼びかけました。

止めよう改憲発議!

市民と野党の共闘で安倍内閣を退陣させよう!

11・3 国会前大行動に 1 万 8000 人

72 年前に日本国憲法が公布された 11 月 3 日、「総がかり行動実行委員会」と「安倍 9 条改憲 NO! 全国市民アクション」は国会前大行動に取り組み、1 万 8000 人が参加しました。主催者あいさつをした福山真劫総がかり行動実行委員会共同代表は「安倍政権は権力私物化、無責任政治を拡大している。モリカケ疑惑の真相は隠し続けている。軍事予算は拡大しながら消費税は増税する。9 条改憲は 3000 万人署名を集め切り、市民と野党の共闘で絶対に阻止できる。この力で全国から包囲し、安倍を引きずり降ろそう」と呼びかけました。行動提起した高田健総がかり行動実行委員会共同代表は「憲法改憲発議をさせない、辺野古新基地建設を許さない、北東アジアの平和を実現させ安倍を倒そう。あと 3 年も首相をやらせるわけにはいかない。市民と野党が共闘し全力でたたかおう」と呼びかけました。



行動提起した高田健総がかり行動実行委員会共同代表は「憲法改憲発議をさせない、辺野古新基地建設を許さない、北東アジアの平和を実現させ安倍を倒そう。あと 3 年も首相をやらせるわけにはいかない。市民と野党が共闘し全力でたたかおう」と呼びかけました。



市民と野党が共闘し全力でたたかおう」と呼びかけました。

社民党の又市征治党首、日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の有田芳生参議院議員、国民民主党の小宮山泰子衆議院議員があいさつしました。